

第3号議案

令和5年度事業計画

シルバー人材センターは、定年退職者などの高齢者に、そのライフスタイルに合わせた「臨時的かつ短期的又はその他の軽易な業務」を提供し、また、さまざまな社会参加を通じて高齢者の健康で生きがいのある生活の実現、地域社会の福祉の向上及び活性化に貢献しています。

ところで、日本の少子高齢化は進み人口ピラミッドは、もはや「釣鐘型」どころか「つぼ型」と言われる人口構造となりました。これはつまり、現役の働き手が不足するという事です。国は、定年延長や主婦層の取り込みにより、この働き手不足を解消したいとしています。

一方、定年が延長されるということは、シルバー人材センターに新規加入する年齢も上がってくるということで、シルバー人材センター事業においても、会員減少、平均年齢の上昇という厳しい状況が続いています。これはつまり、受注希望に答えられないかもしれないということですが、できるだけそうはならないように努力したいと思います。

全国シルバー人材センター事業協会は、第二次会員100万人達成運動を展開する中、令和5年度は会員拡大数値目標をコロナ禍前（令和元年度）水準の会員数としています。

このような状況下、当センターにおいては全国シルバー人材センター事業協会、新潟県シルバー人材センター連合会と足並みをそろえながら、会員の増加、安全・適正就業、デジタル社会への対応などに注力していきたいと考えています。

さて、令和5年度の収支見込ですが、経常収益は9,900千円増額の225,671千円の予算としました。これは、受託事業収益が配分金単価の改定や消費税制度対応による対前年度比9,312千円の増額、労働者派遣事業等収益が対前年度比600千円の増額などによるものです。

経常費用については、こちらも配分金の増額や消費税対応により、対前年度比10,112千円の増額で226,693千円の予算としました。その結果、正味財産は1,022千円の減という予算となりました。

いずれにしても、国、県、市の動向はもとより、社会情勢を注視しながらの執行となります。

今年度も引き続き会員拡大を最重点課題とし「ひとり1会員入会運動」を継続し、新たに、現在シルバー人材センターのない隣町の田上町からも会員を募るべく体制を整えるとともに、会員の皆さまの健康と安全就業を第一に考え、以下のとおり事業計画を定め事業を展開していきます。

基本方針

- 1 会員の加入促進を図る
- 2 就業先の開拓を図る
- 3 安全・適正就業に関する基準の遵守と徹底を図る
- 4 財源の確保と予算の効率的執行に努める
- 5 インボイス制度の導入に向けた対応を図る
- 6 組織活動を通して地域社会との連携を図る
- 7 女性会員の就業機会確保を図る
- 8 各種講習会の実施
- 9 会員交流事業の推進

事業実施計画

1 会員の加入促進を図る

定年延長、コロナ禍の影響等で会員数が下げ止まらない状況であるが、コロナ前(令和元年度)水準の会員数を目標とし取り組む。

- (1) 目標達成に向け、引き続き全会員による「ひとり1会員入会運動」を展開する。
- (2) 田上町からの会員を受け入れる体制を整える。
- (3) 会報、市広報等において、広く一般市民にPRし加入促進を図る。

2 就業先の開拓を図る

- (1) 市と連携を図り、新規就業先の積極的な開拓を図る。
- (2) 会報、市広報等により広くシルバー事業の周知を図る。
- (3) 新潟県シルバー人材センター連合会と連携し、シルバー派遣事業を推進する。

3 安全・適正就業に関する基準の遵守と徹底を図る

- (1) 安全就業基準を遵守する。
- (2) 適正就業ガイドラインを遵守する。
- (3) 会員の健康促進を図るほか、事故防止の徹底を図る。

4 財源の確保と予算の効率的執行に努める

センター事業の安定した運営を図るため、受託事業収益と補助金等の安定した確保を図る。予算の執行にあたっては経費の節約を図り効率的に事業を推進する。

5 インボイス制度の導入に向けた対応を図る

2023(令和5)年10月、消費税のインボイス制度(適格請求書等保存方式)が導入される。(但し、経過措置として施行後3年間(2026年9月迄)は80%、その後3年間(2029年9月迄)は50%の仕入税額控除が可能。完全実施は2029年10月)

会員については、従前と同様、消費税の納付及び手続きが不要であり、配分金額も下がらないよう努め、その周知を図る。

6 組織活動を通して地域社会との連携を図る

広く市民の要望に応えるため、センター役員等及び地区連絡員が積極的に活動を行う。

7 女性会員の就業機会確保を図る

- (1)女性会員の幅広い分野での就業機会の拡大に努める。
- (2)女性によるグループの立ち上げを積極的に支援する。

8 各種講習会等の実施

各種講習会・講座・研修会を実施し、後継者の育成を図るほか、広く市民の方々にも参加を促し、会員加入の促進を図る。

9 会員交流事業の推進

会員交流事業を開催するほか、各種サークル活動等を支援する。